

# NAGANO-KEN CLUB

<http://www4.ocn.ne.jp/~jia-naga/>

jia-naga@jeans.ocn.ne.jp

JIA 長野県クラブ



Vol.70

2006

06.01

## 「建築は愛されているか」

JIA長野県クラブ会長 西沢 利一

先日、東京に行ったついでに恵比寿の写真美術館に寄道をして、マイケル・ケンナ展を見てきた。イギリスの写真家だが、日本の風景を愛している。木、山、雲、もちろん屋並も・・・。対象を見つづけて一瞬をとらえる。うまく表現できないが、記憶や時間の堆積みたいなものを土地から切り取ってくるような写真だ。高い精神性を感じる。水墨画を極限まで削ぎ落としたような構図だった。削ぎ落とす行為は、設計の重要な要素でもある。もしかしたら目的になる。素になると本質が見えてくる。バランスのよい家は、建前の時も美しい。家としての機能？を持たせる為に、この先がやっかいだ。いろいろな手法を使って骨に肉や皮を貼り付けていく。しかし、どんなことをしても骨格は正直だ。うまく包めば包むほど、じわじわと表にあらわれてくる。

今、我々の周辺は問題が山積みである。何から手をつけていいかわからない状態にある。アスペクト、談合、構造疑惑、ハートビル法を悪用した容積率割増、入札問題、第3者監理、基準法改正、設計者資格問題、等々・・・。公けにされたものでもこんなにあるし、業界の足並みも揃わない。何故か！相変わらず自分達の立場や利益を守ろうとする為である。社会から見ると君達は何をしているのか、ということである。しかし、問題は簡単ではない。取り巻く社会そのものが、右往左往している。官僚システムのほころびが、修繕だけでは効かなくなってきたいるのかもしれない。今でなく明日を見据える目が欲しい。JIAにとって財政問題が急務の課題だ。将来像を描こうとしての問題はいろいろあるが、やろうとしていることは間違いではない。

建築家の質を根幹に、若い人材の育成が生命線となる。

建築とは、ある場所にどのように建物を建て、どのように築き、どのような場所にするのかを考えること。建築を考えることとは、建物とまわりの場所との関係を考えること。建築をつくる人たち、街をつくる人たちがほんとうに希むことは、建築を使う人たち、街に生きる人たちが、自分が携わった建築や街のなかに、喜びを共有する場を発見してくれることだ。(松山巖)自分の事だけでなく、相手やまわりのことをいつも考えよう。そうすれば自分本位の心の枠の中から、明日の光が見えてくるはずだ。

建築家は見えない心の風景を具現化する職業だ。従って、自分の中に風景や凝縮された時間のエキスがつくられなければ意味を持たない。他の人が形にしたもの器用になぞっていたとしたら、それは自分の風景ではないし、つくる理由もない。建物を建てる時間よりも、生活する時間の方がずっと長いし、建築そのものは、愛され使い続けられることを望んでいる。

イタリアの建築家、ジオ・ポンティの言葉がある。

建築は愛されているか、 建築に愛されているか  
街は愛されているか、 街に愛されているか  
都市は愛されているか、 都市に愛されているか



卒業設計コンクール表彰式・表彰者



新年度総会 西沢利一会長



会員集会風景

# 2006年度通常総会

2006年5月12日(金)平成18年度通常総会がホテル国際21で開催されました。役員改選で西澤利一(西澤建築研究室)新会長が誕生しました。更に新役員・新委員会委員長等も選任されました。新役員をご紹介致します。

## 「JIA長野県クラブ副会長に選任され」

この度、団らざも副会長に選任され、執行部の末席ながら、この重責を大過なく勤められるか不安な想いでいっぱいです。高橋会長退任の後、西澤利一新会長のもとJIA長野県クラブが新たな船出をし、先輩方の今までのご活躍に少しでも近づくよう、西澤丸を会員の皆様と共に盛り立てて参りたいと思います。

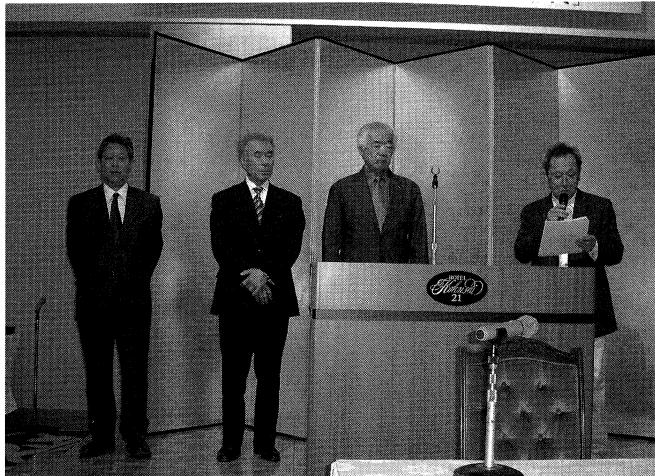
ところで、私が日ごろJIAに感じていることの一つに、本部・支部と長野県クラブが一つの組織であるという実感が持てないでいることです。西澤新会長の基本方針の中に、「市民や地域で理解してもらえる存在になるよう努力しよう。」とあります。JIA活動が私



平成18年度通常総会での高橋会長あいさつ

## JIA長野県クラブ副会長 児野 登

達会員にとって身近なものに、そして地域にとって身近なものになる為にはどうすれば良いか、新会長ともども私も会員の一人として皆様と一緒に考え、活動して行きたいと思います。そして私自身が建築家の中で、またJIAの中で、どんな存在なのか見つめ直してみたいと思います。これから2年間どうぞよろしくお願ひします。



西澤新会長より副会長の紹介(左より児野登(新)・久保隆夫・赤羽吉人(再任)川上恵一(欠席)

## 積極的に参加しましょう！

5月12日ホテル国際21において2006年通常総会が開催されました。悪質リフォームから始まった建築界の根幹を揺るがすような社会的な事件の続発による権威の失墜とJIA独自の問題が重なり難しい会運営が要求される中で、JIAの立場を積極的に地域社会に発信してこられた高橋会長から西澤新会長へとバトンタッチされ新体制がスタートしました。JIA長野県クラブは活発な委員会活動によって情報を公開し、建築の持つ役割と建築家の職能を社会に働きかけてきました。その委員会活動を円滑に運営する要ともいえる総務委員会の委員長をやるよう

## 総務委員長 山口 康憲

にとの西澤新会長の命が下り、言われた当人が一番困惑しております。基よりその重責を担えるだけの能力も見識も持ち合わせていない未熟者ですが、竹花副委員長という心強い味方を得ました。微力ではありますが新会長を支えるべく精一杯努力する所存ですので、会員の皆様のご指導ご協力をよろしくお願ひ申しあげます。



## 役割は積極的に

建築家の自由とは、職能的倫理に裏付けられたものである。職能倫理というと職能=プロフェッショナル(profession)の源professは「信仰告白」の意味をもつ。したがって日々の行動は深い人間愛に基づいた行動をすべきだと思う。僕は、もうひとつ設計入札というものの実状を良く知らないが、それには参加しないことにしている。それが僕の建築家としての職能ひとつの生き方である。

CPDと倫理規定の順守を義務づけられた登録建築家の資格が誕生して認定者の第一陣は2007年4月1日に登録更新を迎え、その際CPDは大きな役割を持つことになります。

## 職能委員長 片岡 隆幸

登録建築家の推進、CPD取得企画、設計者選定問題、建築家賠償責任保険、業務報酬研究、専兼問題研究と職能倫理に関わる問題は山のようにありますが、基本は個人個人の倫理ある生き方に尽きると思います。特にCPDを取得できるよう会員が積極的に参加できる場を考えていきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



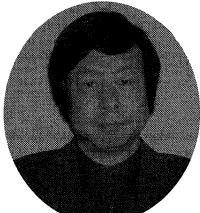
## 西澤丸出航

今年度会員委員長になりました市川です。

会員委員会のミッションは、会員相互の連帯と資質向上を図りクラブの発展に寄与することではないか?と勝手に思っています。そして、資質不十分な私に務まるのだろうか?と大いに不安を感じています。また、倫理や資格等われわれを取り巻く問題が山積している中どこから緒をつけるか悩むところです。

## 会員委員長 市川 英一

外向けの事業委員会に対して当委員会はどうちらかと言えば内向けの活動が多くなると思いますが、多くの会員が参加していただける活動を心がけたいと考えておりますので、会長の西澤さんはじめ皆さんのご支援ご協力をお願ひいたします。



# 特集 日本建築家協会関東甲信越支部長野地域会・会員集会

5月12日(金)2006年度通常総会が開催されました。総会終了後、長野地域会会員集会が行われました、テーマは「動する・動なる・動したい」で関東甲信越支部から、中山信二元副支部長をお迎えし・支部活動の目標・新規設立地域会の近況・財政問題など地域会への提言をお聞きした後、新西沢会長・前高橋会長にも加わって頂き久保副会長(支部常任幹事)の進行で中山氏と共に「地域会から観るJIA像」を語りあって頂きました。鼎談の内容を抜粋ではありますですが掲載致しました。さあ一貴方なら動したいですか?



久保 高橋さん、長野は今、中山さんの方からご案内のあった財政問題がございます。前体制の中で、財政問題を地域会としてどうとらえて、支部に回答していったのか。このあたりを皆さんの中へ平たく説明していただきたいと思います。



高橋 何度か皆さんに機会があるごとに、私が受け止めた内容についてお伝えをしてきております。今回、臨時総会に出された形であれば、1万円はご協力することで、個人的にはしょうがないと腹をくくりました。したがって、地域会の皆さんには、ともかく1年間、基本的には1回ご協力をいただきたい。

久保 西沢さん、新会長としていろいろお考えがあると思います。新しい年度を迎え、そういったことも含め、長野地域会、どうしましょう。



西沢 「なんで地域会か」というところから日頃思っていることを言います。年寄りはどんどん辞めていくという状況ですから、活動を若い人に向けてつなげていかなくてはいけないと、若干の連帶責任は仕方ないと思っているのが現在です。

久保 高橋さん、1期2年間、ご苦労様でした。私も今幹事を仰せつかり、支部の役員会にお邪魔しています。私も地域会で考えているトーンと、支部で財政難の話を考えるときの温度が、自分の中で2種類あります。西沢新会長が言われるように、連帶責任かな、という部分と、私どもは自立していくという背景が確かにあります。これはわれわれ正会員だけの力ではなく、賛助会員の皆さんのサポートが非常に大きいと思います。高橋さん、2年間やってきて、様々なことを振り返りながら、期待も含めてお話しいただけますか?

高橋 長野県クラブは全国でも特殊です。久保さんがおっしゃっている賛助会の力は大です。賛助会員が正会員と同じ人数いるということは、全国でもないと思います。支部の役目は何なのだと、改めて皆さんの意識の中で起こってくると思います。したがって、財政基盤も事業内容についても独立していく力を持って、本部と連携していくのが最終の形だろうなと思っています。もう一つ、「建築家って何なんだ」というのがいまだにあります。本部はお金を必要なところへしっかり使って、われわれの身元をしっかりと守っていかなければいけないと。地域会が末端で活動するには非常にいいと思いますが、そのメリハリをJIAは是非してほしい。そうすると、地域会、われわれ長野県クラブはやる気はありますから、いい会になっていくだろうと、今私はイメージしています。

久保 さて、JIA本部の姿勢に関わるお話も出ました。今日はJIAの名誉会員でもおられる宮本先生がおいでです。主觀と客觀性をもって両方の意見をお聞きしたいと思います。いかがでしょう。

宮本 はっきり言ってJIAはのんびりしていますね。JIAは立派な社団法人なんです。社団法人が、事業計画をやってみたらお金が足りなくなったら拠出しましょう、というのは、これ

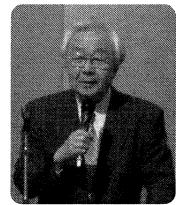
は同好会ですよ。同好会の域を出ないですよ、JIAは。同好会だったら社会から相手にされません。JIAは今非常に大事な時期にきています。私は自立してはダメだと思うんです。とにかく長野県の地域会が、日本建築家協会を変えるんだというふうになってもらいたいなと思いますね。一番信頼のあるものは建築家協会です。長野から変えなくちゃダメですね。西沢さんが今度は新会長になったから……。賛助会員の方の構成、援助は絶対必要ですが、いつまでもお願いしちゃダメなんです。賛助会員の皆さんからも尊敬される、信頼されるJIAの会員にならなくてはダメなんです。会員個人個人の人格なのです。われわれはどちらかというと受け身ですよね。クライアントがあって仕事できるという関係があります。この受け身は仕事上仕方ない。だけど、受け身であって「職能」は専門的で絶対大事なんです。「資格」でしばられると受け身の場合弱いんです。でも「職能」というのは無限なんです。だから、JIAも「職能」というものを本気で考えて貰うなら、単に法制化して職能法を作るなんて言うのはとんでもない間違いで、職能法なんて法制化しちゃいけない。民間レベルで認定していくのが本当の「職能」なのです。それを私は是非、長野発でお願いしたいと思います。以上です。

久保 ありがとうございます。しばらく前に西沢新会長が就任前だったと思いますが、数の論理ではなく、本質的な建築家のあるべき姿に戻るべきだと、言っていたことがありました。今度会長に就任されて、魅力あるJIA、もしくは地域会とはどんなものだと思っておられますか?

西沢 大変厳しい船出になりそうなので、弱っております。われわれが年を取っていくと、お腹が出たり、女性の胸も下がってきたりして、重ね着したりして隠す服装になります。年を取ると外は厚着しますが、中は削いでいくべきだと思います。心を削いで、心を薄着にしていくというのが、作品にも出るような気がします。そういうことにだんだん気がついてきたので、それを若い人たちにこれから伝えていきたい。僕流の言い方で、そういうふうにしか表現できないのですが、そしたらいいなと思います。

久保 それぞれの方が自分の中で答えを見つけて行かなくてはならないし、誰かがお出してくれる答えではありません。それは日頃の自分たちの職能倫理を持ち続ける中でやっていかなければいけないことだと思います。最後に中山さん聞いておられていかがでしょう、思いをお聞かせください。

中山 今日参加させていただいたことは、非常に参考になりました。長野モデルというか、長野地域会さんは、おそらく実態としては支部といつてもいいと思います。賛助会員さんとうまくタイアップをとっている。言えることは「地域をよくしていきたい、そのためにはどうしたらいいか」という視点でいきますと、ある意味ではどんどん回答が見えてくるところがある。今日の話を東京の仲間に持ち帰って、情報交換していければと思っています。



(社)日本建築家協会関東甲信越支部長野地域会

# JIA長野県クラブ

## 役員名簿

2006年度

役職名	氏名	勤務先
会長	西沢 利一	(株)西沢建築研究所
副会長	赤羽 吉人	(株)林巍建築設計事務所
副会長	久保 隆夫	(株)宮本忠長建築設計事務所
副会長	川上 恵一	(有)かわかみ建築設計室
副会長	児野 登	(株)アーキディック
会計幹事	丸山 幸弘	館 KAN 設計工房
幹事	高橋 重徳	(株)ローカル建築設計室
幹事	荒井 洋	HAL設計室
幹事	新井 優	新井建築工房十設計同人NEXT
幹事	市川 英一	(株)設計室コム
幹事	片倉 隆幸	片倉隆幸建築研究室
幹事	吉川 一久	諏訪n設計企画
幹事	菊池 弘之	菊池ひろ建築設計室
幹事	竹花 彰男	彰建築設計事務所
幹事	中澤 栄二	(株)エービーシー一級建築士事務所
幹事	林 隆	林建築設計室
幹事	藤松 幹雄	藤松建築設計室
幹事	山口 康憲	(株)アーバー建築事務所
幹事	坂田 守夫	坂田工業(株)
幹事	和田 一	炭平コーポレーション(株)
監査	荻原 白	(株)宮本忠長建築設計事務所
監査	水谷 健治	(株)新和建材

役職名	氏名	勤務先
相談役	宮本 忠長	(株)宮本忠長建築設計事務所
相談役	須田 考雄	(株)アーキ・クリエイション
相談役	出澤 潔	出澤潔建築設計事務所
相談役	松下 重雄	(有)みすゞ設計

役職名	氏名	勤務先
賛助会長	坂田 守夫	坂田工業(株)
賛助副会長	和田 一	炭平コーポレーション

## 皆さんの参加お待ちしております

事業委員会の大きな事業は文化講演会と長野県学生卒業設計コンクールです。今まで楽しく参加させていたいた事業ですが、本年度は企画する側に立つことになってしまいました。気楽な立場から一転、責任重大な立場になってしまい今はとまどいの方が大きい状態です。今年の文化講演会は15回記念ということで予算を少し多めに使うことが出来そうです。講師の選定は事業委員だけではなく会

事業委員長 荒井 洋

員の皆さんからも広くご意見をいただきたいと考えています。卒業設計コンクールも内容を若干改めながら会員が積極的に参加したくなるような魅力的な事業といたしますので多数の参加を願っています。皆様のご協力よろしくお願いします。



## 活動の生奪者に……

先日、格子のディテールを調べようと市内の旧遊郭に行ったが舗装された駐車場とアパートが出現していて愕然とした。歴史の生き証人でもある各地の伝統建築物は高齢者が守っているならまだしも空屋同然のものも多く、私たちもジャンジオノ原作の『木を植えた男』の様に粘り強く思いを持ち続けていきたい。まちづくり委員会としては前委員長から引き継ぐ各地の町並み歩き等を通して、保存手法の情報

まちづくり委員長 新井 優

交換など今後具体的に動き出す景観法への対応を含めて、会員個々が各地の活動を先導できる勉強や資料編集をサポートしていきたい。また、県産材の利活用についても当委員会の活動テーマになっているので、具体的な行動に落とし込んで行きたいと思っています。



# 第15回 学生卒業設計コンクール

3月12日(日)第15回学生卒業コンクール公開審査会を実施しました。参加校は長野県内の大学1校、専門学校1校(本年は1校不参加)、高校4校の参加で、学内選抜を経た35作品会場一杯に出展されました。入賞作品の報告をいたします。

### 第15回「学生卒業設計コンクール」総評

審査委員長 宮本 忠長

卒業設計とは学生生活の集大成である。各自、修練した建築学をもとに自らの強いイメージを空間創造者として具象化するところに大きな価値がある。

その「かたち」を社会に向けて発信するところが他の分野の学問と異なる。それは、建築家として斯界に飛び出す瞬間もあるからだ。今年度の傾向は、時流を反映し、身近な場所性に着目し、サステナブル思潮のもと、日常生活に環境・景観を創造する意欲ある作品が揃っていた。どの案も堅実な力感溢れるエネルギーが感動的であった。

結論として一言、如何なるプロポーションも学術が背景になればそれは虚像に過ぎない一と。

#### ●大学の部 入賞作品

賞	氏名	学校名	作品名
金	山田 匠	信州大学工学部 社会開発工学科	ヤマのふもとで
銀	WAN,MASAYA	信州大学工学部 社会開発工学科	turn over a new leaf
銅	片岡 篤史	信州大学工学部 社会開発工学科	Extetion
特別	大平 賢秀	信州大学工学部 社会開発工学科	「あなたがいるしあわせ」

〈審査委員名〉委員長:宮本忠長 委員:高橋重徳、赤羽吉人、川上恵一、西沢利一、甘利享一、林 隆 新潟クラブ:上山 寛 群馬クラブ:石川純男



#### ●専門学校の部 入賞作品

賞	氏名	学校名	作品名
金	石川 雅宏	上田情報ビジネス専門学校 建築CAD科	自然の中で生えるということ
銀	小林 千恵	上田情報ビジネス専門学校 建築CAD科	祈り
銅	熊谷 美智子 塚田 圭子	上田情報ビジネス専門学校 建築CAD科	kom/Rit(コモリタ)…
特別	中澤 麻美 中澤 優一 竹内 宏一	上田情報ビジネス専門学校 建築CAD科	「上田 街づくり計画」

#### ●高校の部 入賞作品

賞	氏名	学校名	作品名
金	萩原 創	長野工業高等学校	famiria保育園
銀	塙原 哲也	長野工業高等学校	ふるさと老人ホーム
銅	黒沢 愛	飯田長姫高等学校 建築科	our village
特別	杉山 聖昇	長野工業高等学校	昭和の森公園フォレストマシーン美術館

信州大学工学部社会開発工学科 山田 匠

本年度のJIA卒業設計展において、金賞をいただけたのは非常にありがとうございました。これまでご指導頂いた坂牛先生、非常勤講師のみなさまのおかげです。重ねて御礼申し上げます。

卒業設計において、長野市街地を流れる山風に注目し、これを建築的に読み解く方法としてサステナビリティに注目し、建築化を試みました。この試みは、十分に成功していません。しかし、1年間この問題について深く考え続けたことは、非常に有意義でした。卒業設計を

通して解こうとした問題は、今後も自分にとって重要なテーマの1つです。今回の賞の持つ意味を冷静に受け止め、このテーマをさらに発展させることができるよう今後も努力を重ねていきたいと思います。ありがとうございました。



# 賛助会 新担当者紹介

## (株)ダイフレックス新潟営業所 阿部 譲



会員の皆様には日頃より大変お世話になっております。前任者の移動に伴い、この度、新しく本会の担当をさせて頂くことになりました、(株)ダイフレックス新潟営業所の阿部と申します。当社は建築建材メーカーとして防水材、特にその中でもウレタン塗膜防水を中心に製造及び販売致しております。

防水は建築物の外観から見えず、目立つものでは無いですが、実は建物を守る点で重要なポイントになります。また近年シックハウス、シックスクールの問題が顕在化していますが、それに対応する環境配慮型の商品をご提供もしております。今後も組合員様にとってプラスになる情報を常に発信して参りますので何卒、宜しくお願ひ致します。

## (株)栗本鉄工所 阿部 隆



いつもお世話になっております。

株式会社 栗本鉄工所の阿部と申します。この度は前任者の転勤により長野県を担当させていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひ致します。

弊社は1909年創立の建築・土木・設備の総合メーカーでございます。JIAの会員の皆様には作品に中空スラブ工法を御採用いただくことでお世話になっております。最近におきましても県内にて集合住宅を始め学校・病院から個人住宅まで幅広く御採用いただいている。また近年は作品の多様化に伴い従来の中空スラブだけでなく素材の異なるタイプの製品やデッキとの併用製品など多くのバリエーションを取り揃えております。今後、設計時に「梁が邪魔だ」「柱が邪魔だ」「広い空間が必要だ」「遮音性の高い床を求めている」などの要望がありましたらぜひ中空スラブをご検討いただけるようお願いします。最後になりましたが今後とも、末永くお付き合いいただけますようお願い申し上げます。

## 中信アスナ株式会社 小池 幸信



この度、JIA長野県クラブの担当をさせていただきました。中信アスナ株式会社 小池 幸信と申します。

日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがとうございます。

弊社は、東芝エレベータ(株)、石川島播磨重工業(株)、(株)荏原製作所の代理店として営業しております。

弊社が目指す営業スタイルは誠意・熱意・俊敏な行動の三要素であり、この様な姿勢をベースとして、より良い顧客満足をご提供できるよう「感謝と奉仕」を条件に、各製品の拡販を目指し、精進し続けていきたいと考えております。

はなはだ微力ではございますが、この大任をお受けいたしましたうえは、JIA長野県クラブ様のご発展に全力をつくす所存でございます。何卒、前任者同様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、正会員様及び賛助会員各位の益々のご健勝、ご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

## (株)INAX 平林 幹久



(株)INAX長野営業所 平林でございます。4月より福島から転勤してまいりました。

生まれは九州大分県で就職後、広島→福山→福島を経由して長野に至ります。

前任地の福島も果物、温泉、スキー、ゴルフと自然を満喫できましたが、長野でも一層自然に親しみそうで大変楽しみにしております(仕事も楽しみます!!)。

専門分野は建材商品(タイル・石材)です。テラコッタルーバー(タイルのルーバー)を始め、水周り商品も超節水型トイレEco6(6L洗浄トイレ)を中心に提案してまいりますので、何卒よろしくお願いします。

## 広報副委員長からのひとこと



### 広報副委員長 野口 大介

06年度、広報副委員長を仰せつかりました野口です。

会員の方へ正確で敏速な情報提供。また一般の方へのクラブアピール等、微力ではありますが委員長をサポートし、活動をしていきたいと思いますので、宜しくお願ひいたします。

### 広報副委員長 水谷 健治(新和建材)

目に映る淡い緑の木々達が、日を追う毎に色濃くなっています。大きな幹から芽生えた新しい命達も、これからいろいろな養分を吸収し、大きく成長してゆく事でしょう。

さて、新体制の中まだ新緑にも成れていない自分ですが、皆様のご協力を得ながら、精一杯頑張ってみようと思いますので、宜しくお願ひ致します。

### 編集後記

再び、広報に携わらせていただくことになりました。どうぞよろしくお願ひ致します。この会報も70号。JIA長野県クラブの長い歴史でもある。物事を継続していくことと、より良く進化していくこと、共に大事なことだと思う。今必要なことは、「私達の仕事」をもっと広く一般市民に正しく知りていただくこと、その一点に尽きるのではないかでしょうか。まずはそれを伝えていきたい。